

許 可 番 号	倫-708
研 究 課 題 名	大腸直腸癌の膀胱浸潤症例の予後の検討
診 療 科	外科
研 究 責 任 者	伊藤 智彰
資 料 ・ 情 報 の 管 理 責 任 者	伊藤 智彰
研究の目的と方法	大腸癌における肉眼的他臓器浸潤の頻度は 10%強とされており、なかでも膀胱浸潤は腹壁浸潤に次いで頻度が高い。大腸癌は、積極的に浸潤臓器を合併切除することが予後の改善につながるため、膀胱浸潤においても積極的な切除が望まれる。一方で、骨盤内臓全摘術や膀胱全摘術を要する症例は、術後の生活の質(QOL)を著しく低下させる可能性があり、手術以外の治療を行った方がよいこともあるが、実態が不明である。そこで当院での膀胱浸潤症例の予後などの調査を後方視的に行う。
利用、又は提供する 試料・情報の項目	検査データ、診療記録
研 究 対 象 者	大腸直腸癌の手術を行った患者
研 究 対 象 期 間	西暦 2019 年 12 月 16 日から西暦 2022 年 12 月 31 日の間
利用する者の範囲	当院のみで実施
個人情報の取扱い に つ い て	使用するデータは、個人情報特定されないよう匿名化に十分配慮して扱います。 研究成果が公表される場合にも、患者さんが特定できるような情報が公表されることはありません。
お問い合わせ先	該当する研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報を利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。  順天堂大学医学部附属静岡病院 外科 電話：055-948-3111(代表) 研究責任者：伊藤 智彰